

らららん4号



2019. 5. 24

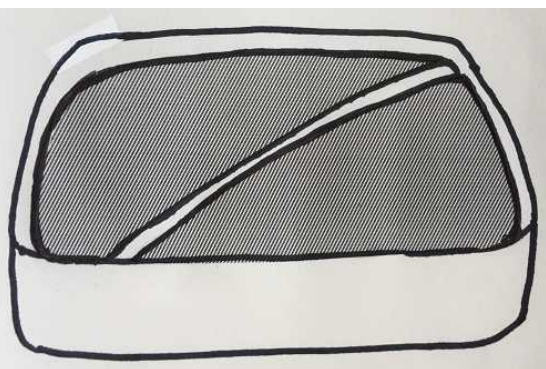
私の母

今年は、五月十二日が母の日でした。子育てにかかわるお母さんは、本当に大変だと思います。皆さん、ご苦労様です。子どもたちからの「お母さん、ありがとう」を聞くだけで苦労が報われる気がしますね。

私(園長)の母についての話を少しさせてもらおうと思います。私の母は、もう九年前に亡くなりました。私のことは、無条件で応援してくれていました。

母は体質的に牛肉や豚肉を食べることができなく、さっぱりした食事が好きでした。しかし、私と弟が育ち盛りのときは、肉食にあこがれカレーやオムライスなど作ってほしいとたのんでいました。母は味をみることはできなかつたので、まさにエイヤーと料理を作っていました。しかし、大胆に作るせいか、美味しかったことをよく覚えています。

そんな母の料理についての思い出は、小学6年生のときの遠足です。結構遠くの海岸まで歩いていき、お弁当の時間になりました。みんなでいそいそと弁当箱を開けました。弁当の中を見て、私は唖然としました。大きないなりずしが2個だけ入っているのではないですか。弁当箱は長方形、二つのいなりずしがびっちり詰まっています。他の装飾は一切ないのです。驚きのあまり声も出ま



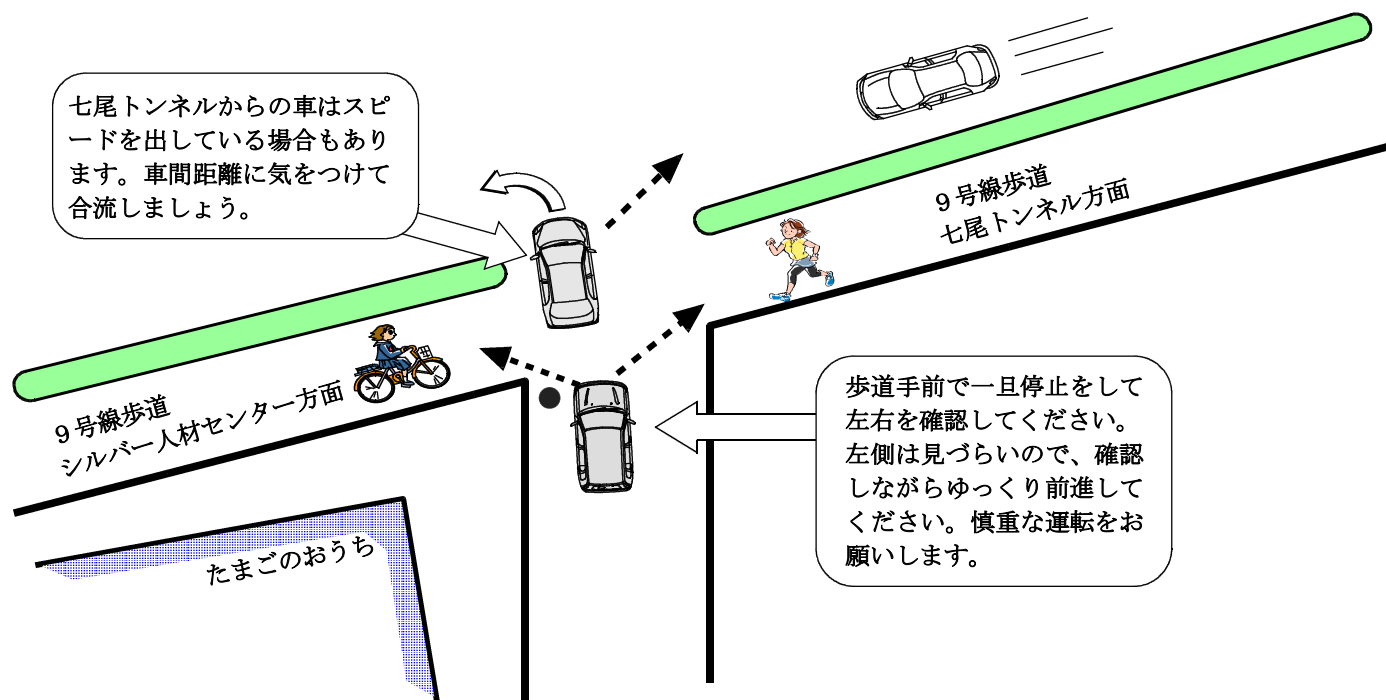
んでした。ちょうどきれいに抱き合わせるように入っていました。このインパクトが強すぎて、友だちとどんな遊びをしたか、目的地はどこだったかもよく覚えていないのです。弁当箱に入った2個のいなりずしの画像しか覚えていないのです。私はこの弁当で対角線を理解しました。その後、母に弁当を作ってもらうときは「あのいなりは、絶対やめて!」と、ことあるごとに言いました。しかし、今になって思うのです。もし母が生きていたら、もう一度、あれを作ってほしいと頼みたいのです。あの弁当こそ母そのものだったのです。母らしい潔さと大胆さが表れたものでした。母の日にそんなことを思いました。

園児の自家用車での送迎について

数日前、地域の方からご意見をいただきました。子どもたちを幼稚園へ車で送迎後、9号線へ出ていくときに歩道手前で一旦停止をしない車が多いというお話しでした。2~3回は車が飛び出してきて轢かれそうになったと訴えられました。保護者の皆さんは、七尾トンネル方面をよく見ているのだが、左側の歩道の人や自転車を確認しないことが多く危ないと切実に語られました。保護者の皆さんの様子を見ると、時間的に忙しい状況はわかりますが、もし接触事故が発生すると大変なことになります。事故を防ぐ最大限の努力を、

皆さんにお願いします。

歩道手前に電柱がありますが、一旦停止をしてじわじわと出るようにすることが大切だと思います。一旦停止をしても左側の歩道は見づらいので、歩行者(ジョギングの人も含む)や自転車にも、車が出ようとしていることをわかってもらうことが大切だと思うのです。ゆっくりと車を前に出すようにお願いします。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



ハンガリーはどんな国？

5月上旬、直子先生はハンガリーの教育事情を視察してきました。数多くの貴重な体験を重ねたと報告を受けました。ハンガリーの丁寧な保育を本園の教育保育にしっかり生かして欲しいと思っています。そして、4・5歳児の子どもたちへは、クラスごとにハンガリーのことを話してくれることになりました。今日は、きくぐみの子どもたちでした。



世界地図や地球儀でハンガリーを調べました。



ハンガリーの紙幣にも、すかしがありました。

地図や地球儀でハンガリーの位置を調べたり、日本とハンガリーの紙幣を比べたり、興味深い活動がありました。直子先生のお話を、真剣に子どもたちは聞いていました。日本が、午前10時だと、ハンガリーは夜の3時で時間が違うことを知りました。また、乗り物、食事、保育園等の異文化の写真を見たり、パズルやカードゲームなどでも遊び、子どもたちの興味は一挙に海外へ広がりました。